

1. 当社概要

2. 第2四半期決算報告

3. 2017年10月期業績の見通し

4. 成長戦略&トピックス

当社の使命

中小事業者への経営支援を通じた社会貢献



会社概要

名 称	株式会社ティビィシー・スキャット
設 立	1969年12月
代 表 者	代表取締役社長 安田 茂幸
資 本 金	2億円
従業員数	200名 (2017年4月30日現在)
所 在 地	小山本社：栃木県小山市城東一丁目6番33号 東京本社：東京都中央区日本橋本町三丁目8番4号 ユニゾ日本橋本町三丁目ビル
国内拠点	札幌・仙台・宇都宮・東京・名古屋・大阪・広島・福岡
市 場	東京証券取引所JASDAQ市場 (証券コード：3974) 2016年12月27日上場

当社の事業セグメント

➤ 主要3事業セグメントは、各々独立して、経験豊かな業歴と実績を保有

■ 介護サービス事業

栃木県、群馬県、長野県の3地域で介護付き有料老人ホームを運営し、介護サービスを提供
(連結子会社による事業運営)

10年以上続く事業実績

■ 中小企業向け ビジネスサービス事業

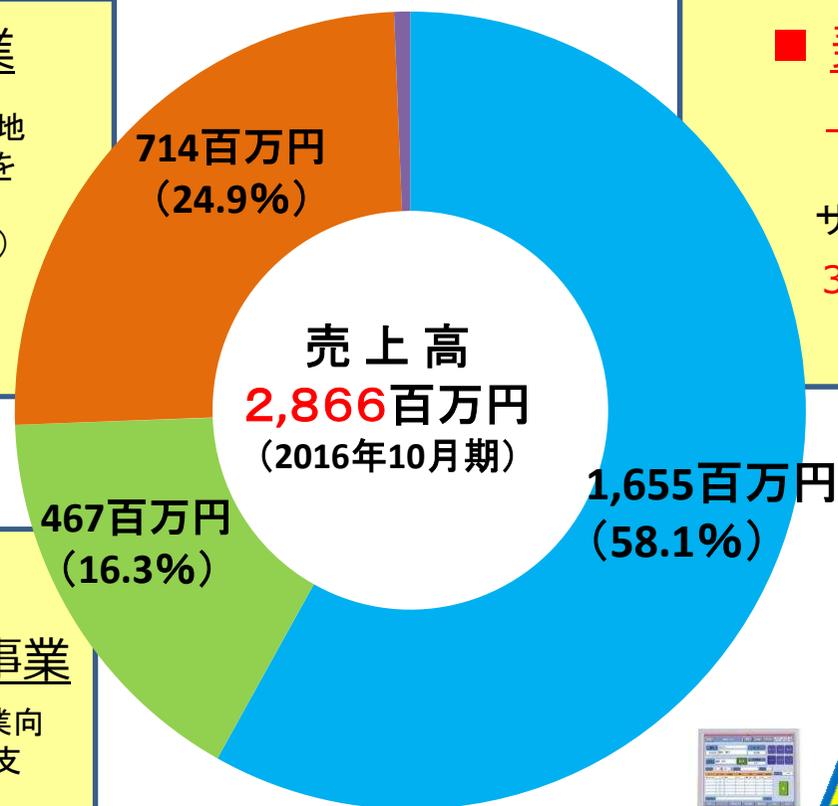
栃木県を中心とした中小企業向けに会計サービス他の経営支援事業を展開

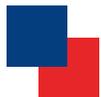
約50年続く事業実績

■ 美容サロン向け ICT事業

美容業界に特化したICTサービスを全国展開

30年以上続く事業実績





1. 当社概要
- 2. 第2四半期決算報告**
3. 2017年10月期業績の見通し
4. 成長戦略&トピックス

2017年10月期 上半期 連結損益概要(サマリー)

- 美容サロン経営の経費増等の影響から当社システムの買替が先延ばし傾向にあり。
- 美容ディーラー向けシステムの受注増でカバー予定も、カスタマイズによるスケジュール変更から、第2四半期累計において売上・利益とも計画未達
- 地方自治体からの業務請負及び製造業向け人材派遣事業の撤退により、売上高は前年同期と比較して△113百万円となる。(断捨離による減収)

単位:百万円または%

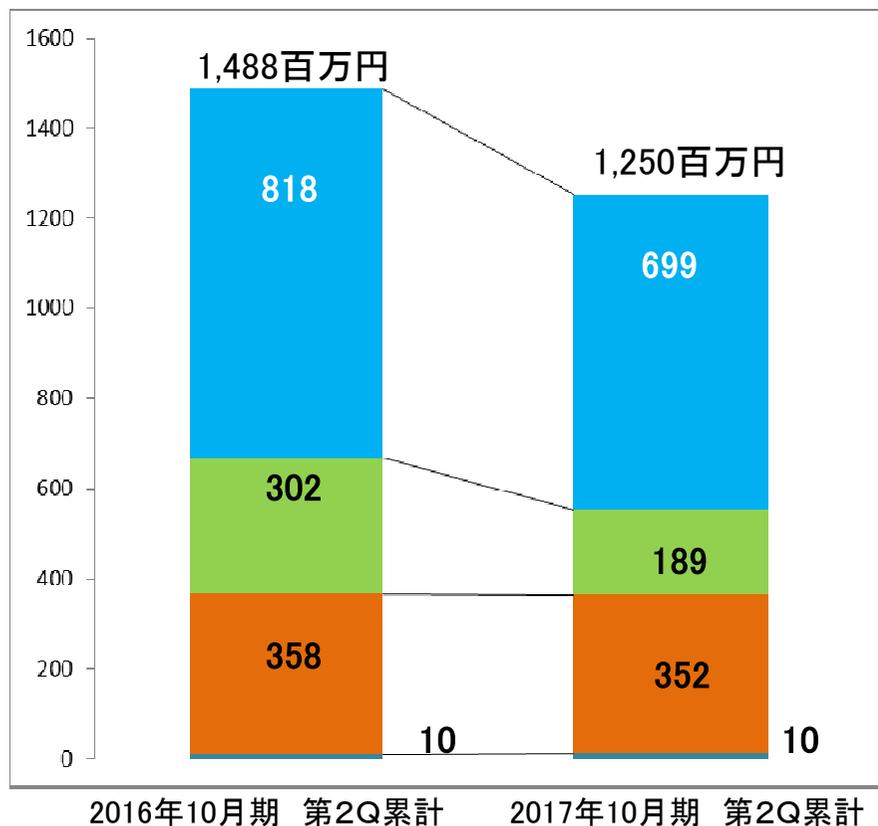
	2016/10 第2四半期	2017/10 第2四半期	前年同期比
売 上 高	1,488	1,250	84.0% (△237)
営業利益 (営業利益率)	97 (6.6%)	38 (3.1%)	39.5% (△59)
経常利益 (経常利益率)	118 (8.0%)	20 (1.6%)	17.2% (△98)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	69	18	26.7% (△51)

※)2016年12月27日に業績予想を公表しましたが、2017年5月31日に業績予想の修正の公表を行っております。

単位:百万円

セグメントの状況 (第2四半期累計2期比較)

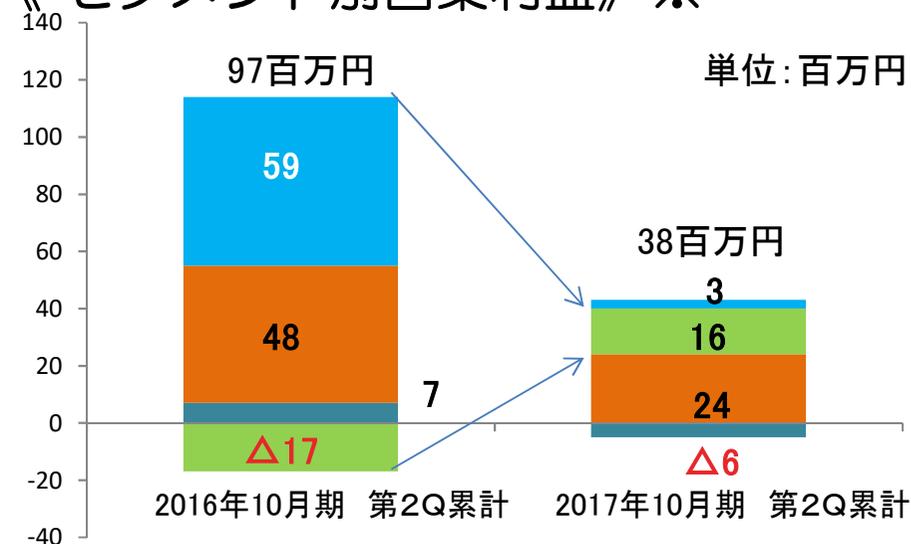
《セグメント売上高》



美容サロン向けICT事業 ビジネス事業 介護サービス事業

		2016/10 2Q	2017/10 2Q	増減
美容サロン向けICT事業	売上高	818	699	△118
	営業利益	59	3	△55
ビジネス事業	売上高	302	189	△113
	営業利益	△17	16	33
介護サービス事業	売上高	358	352	△6
	営業利益	48	24	△23
その他	売上高	10	10	-
	営業利益	7	△6	△13

《セグメント別営業利益》※



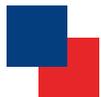
※)比較数値の統一のため、セグメント別の単純営業利益を提示

第2四半期(連結)貸借対照表概要

- 健全な財務状況を維持
- 自己資本比率：58.6%

単位：百万円

項目	2016年 10月期	2017/10期 (2Q)	前期差	前期差要因
流動資産	1,408	1,587	179	営業活動に伴う現預金の増加 (市場からの調達を含む)
固定資産	1,613	1,601	-12	ソフトウェア(カスタマイズ含む) 完成による減少
資産合計	3,022	3,188	166	
流動負債	454	410	-43	買掛金の減少 未払法人税の減少
固定負債	918	910	-8	長期借入金の減少
負債合計	1,373	1,320	-52	
純資産計	1,649	1,867	218	資本剰余金の増加
負債純資産合計	3,022	3,188	166	



1. 当社概要
2. 2017年10月期第2四半期決算報告
- 3. 2017年10月期業績の見通し**
4. 成長戦略&トピックス

2017年10月期連結業績・通期予測

- 上半期の業績不振を踏まえ、2017年10月期(当期)の通期業績予想を保守的に見積り修正

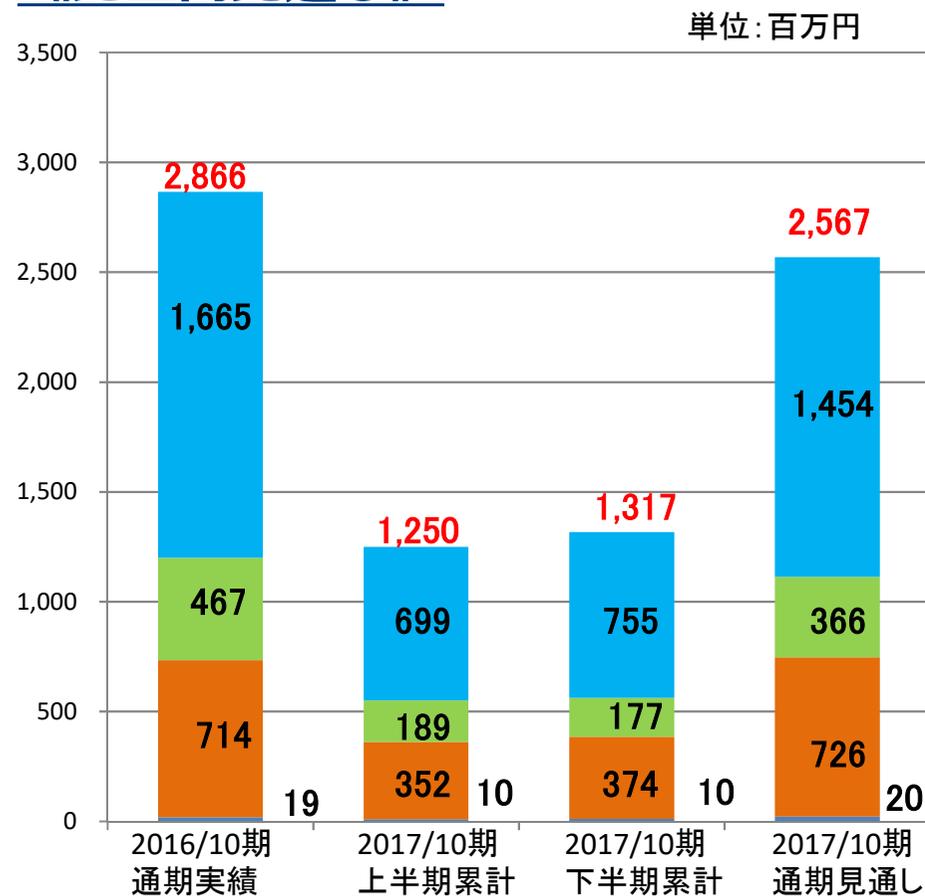
単位:百万円または%

	2016/10 通期実績	2017/10 通期見通し	前年同期比
売上高	2,866	2,567	89.6% (△298)
営業利益 (営業利益率)	217 (7.6%)	145 (5.6%)	66.6% (△72)
経常利益 (経常利益率)	239 (8.4%)	125 (4.9%)	52.2% (△114)
親会社株主に帰属 する当期純利益	143	87	61.2% (△55)

※)2016年12月27日に業績予想を公表しましたが、2017年5月31日に業績予想の修正の公表を行っております。

セグメント別業績予測

《売上高見通し》

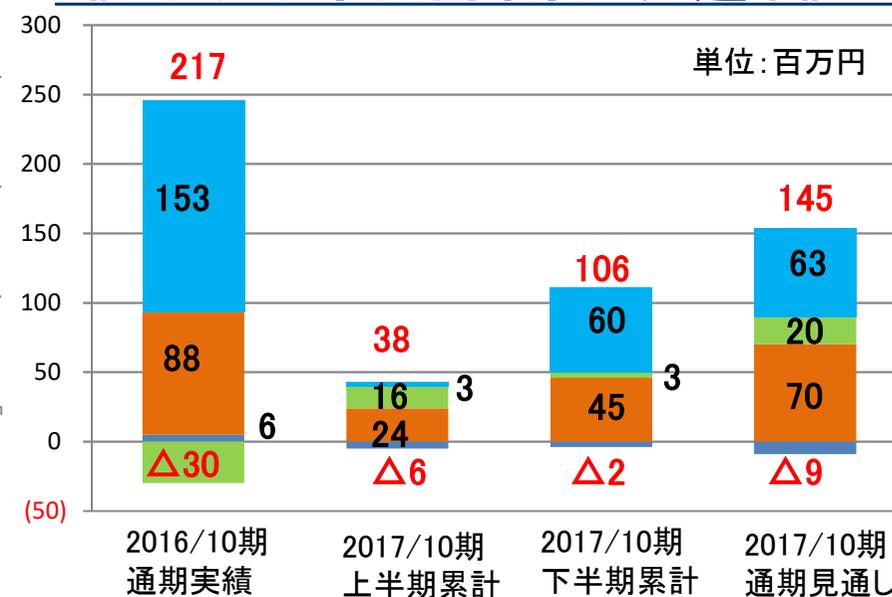


美容サロン向けICT事業 ビジネスサービス事業 介護サービス事業

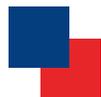
単位: 百万円

		2016/10	2017/10	増減
美容サロン向けICT事業	売上高	1,665	1,454	△210
	営業利益	153	63	△89
ビジネスサービス事業	売上高	467	366	△100
	営業利益	△30	20	50
介護サービス事業	売上高	714	726	12
	営業利益	88	70	△18
その他	売上高	19	20	1
	営業利益	6	△9	△15

《セグメント別営業利益見通し》※



※) 比較数値の統一のため、セグメント別の単純営業利益を提示



TBCSCAT2017年10月期連結損益実績・見通し

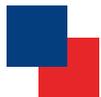
2017年6月22日

	2017年10月期上半期実績							2017年10月期通期見通し						
	2017.6.13	2016.12.27			前期実績	増減額	達成率	2017.5.31	2016.12.27			前期実績	増減額	達成率
	上期実績	当初見通し	増減額	達成率				通期見通し	当初見通し	増減額	達成率			
売上高	1,250	1,406	-156	88.9%	1,488	-238	84.0%	2,567	2,852	-284	90.0%	2,866	-299	89.6%
営業利益	38	110	-72	34.9%	97	-59	39.5%	145	245	-100	59.1%	217	-72	66.6%
経常利益	20	93	-73	21.5%	118	-98	17.2%	125	227	-102	55.1%	239	-114	52.2%
当期利益	18	61	-43	30.2%	69	-51	26.7%	87	145	-57	60.4%	143	-55	61.2%

TBCSCAT2017年10月期セグメント売上・営業利益実績・見通し

2017年6月22日

		2017年10月期上半期実績							2017年10月期通期見通し						
		2017.6.13	2016.12.27			前期実績	増減額	達成率	2017.5.31	2016.12.27			前期実績	増減額	達成率
		上期実績	当初予算	増減額	達成率				通期見通し	当初予算	増減額	達成率			
美容	売上高	699	841	-141	83.2%	818	-118	85.5%	1,454	1,710	-255	85.1%	1,665	-210	87.4%
ICT	営業利益	3	74	-71	4.0%	59	-55	5.0%	63	156	-92	40.8%	153	-89	41.7%
ビジネス	売上高	189	193	-4	97.7%	302	-113	62.6%	366	390	-23	93.9%	467	-100	78.4%
サービス	営業利益	16	12	4	133.9%	-17	33	-	20	22	-1	92.1%	-30	50	-
介護	売上高	352	361	-9	97.3%	358	-6	98.3%	726	732	-5	99.3%	714	12	101.7%
サービス	営業利益	24	33	-8	75.0%	48	-23	51.5%	70	73	-3	95.4%	88	-18	79.1%



1. 当社概要
2. 2017年10月期第2四半期決算報告
3. 2017年10月期業績の見通し
4. 成長戦略&トピックス

各セグメントの成長への重点実施項目

美容サロン向け ICT事業

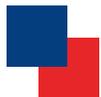
- ソリューション商品戦略(ネットワーク推進)
- 販売チャネル戦略(プラチナディーラー推進)
- アライアンス(システム開発会社・同業他社)

中小企業向け ビジネスサービス事業

- WEBマーケティング広告会社とのアライアンスによる中小企業の売上推進サービス

介護サービス事業

- 人材確保(処遇改善による就業の確保)
- 介護予防事業への取組み
- 増床計画



美容サロン向けICT事業

プラチナ・ディーラー戦略

戦略的互惠提携

- (株)きくや美粧堂(美容業界BIG3ディーラー)とのアライアンス
 - ・(株)きくや美粧堂(全国31拠点)が展開するECサイトと当社システムの連携による拡販



プラチナ・ナイスパートナー戦略

戦略的互惠提携

- (株)エム・エイチ・グループ(JSQ9439)とのアライアンス
 - ・「モッズ・ヘア」サロンにおいて指定機種による拡販
(直営店及び準直営店への販売)
 - ・子会社(株)ライトスタッフとのクレジットカード機連携による拡販



mod's hair 株式会社エム・エイチ・グループ

モッズ・ヘアサロン事業：日本国内

国内サロン数67店舗 (直営店 16店舗, フランチャイズ店 51店舗)

 <p>新宿サウス店</p>	 <p>高松瓦町店</p>	 <p>仙台パルコ店</p>
 <p>名古屋栄店</p>	 <p>福岡天神西通り店</p>	 <p>大阪天神店</p>

Copyright © M・H GROUP LTD. All Right Reserved. 30

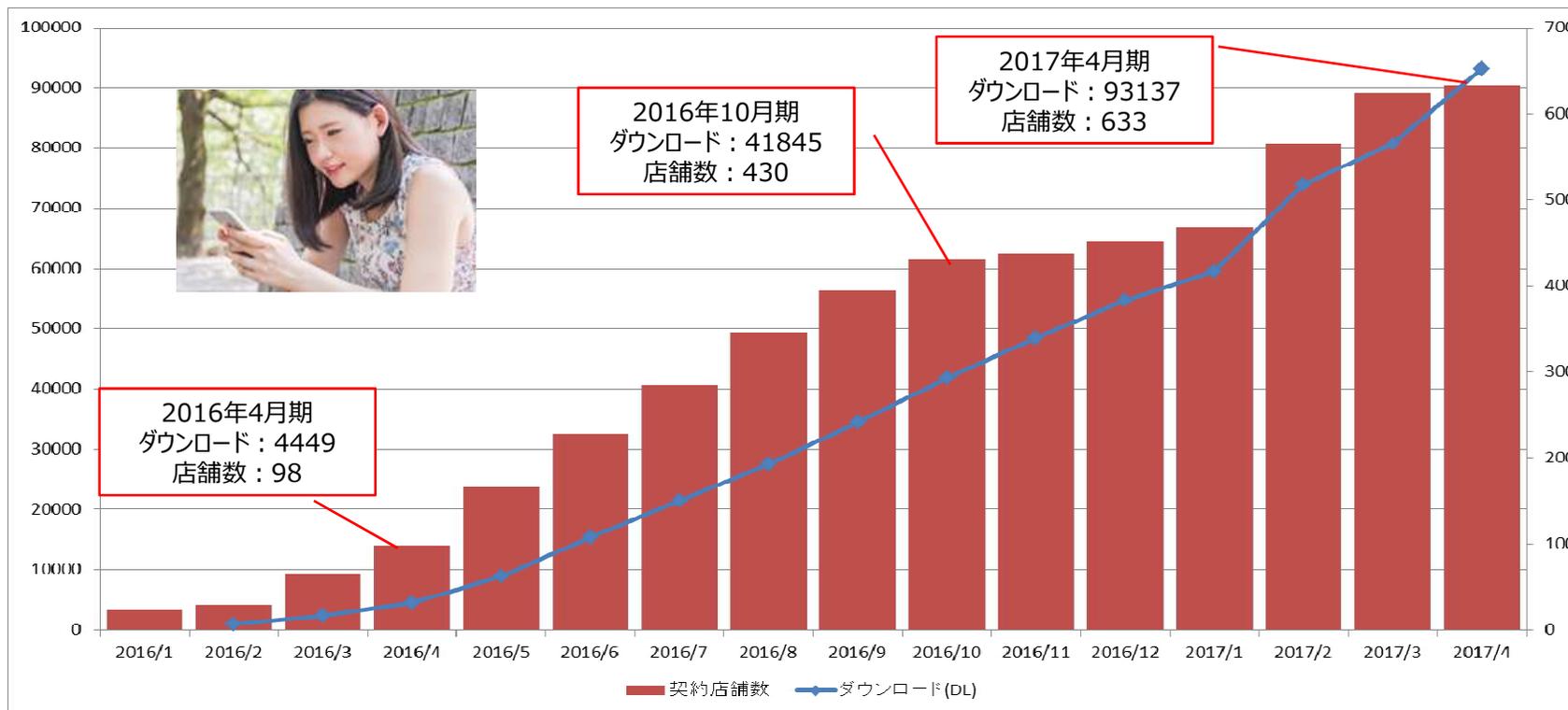


ソリューション商品戦略



➤ Salon Appli (サロンアプリ)の伸長

- ・サロンがオリジナルアプリを持つことで、お客様へのアピール度が高くさらに自社予約とつなげることで、お客様自身も扱いやすいアプリ。
(来店サイクルの短縮や囲い込みへとつながる)



ソリューション商品戦略

WEB受発注システム

美容サロン ⇄ 美容ディーラー

美容ディーラー ⇄ 美容商材メーカー

SCAT WEB受発注システム

NBBA 楽々注文ねっと

Hair Salon Cloud System



美容サロン様

WEB
受発注

納品



ディーラー様

受発注
データ

仕入れ
データ

アリミノ
資生堂
タカラ
中野
DEMI
ロレアル
ウェラ
ミルボン
モルトベーネ
リアル
サンコール
ナンバーズリー
ホーユー
シュワルツコフ
三口産業
ナプラ

発注
データ

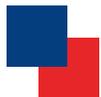
仕入れ
データ

各メーカー様

商品
配送

※) スマホ利用も可

- ◆NBBA「楽々注文ねっと」との受発注データ連携
- ◆全銀通信手続利用による口座振替データの取り込み
- ◆クラウドバックアップサービスによるデータセキュリティ強化
- ◆スマホ連携によるSFAの実現



介護サービス事業

地域密着による総合支援事業への参画

長野県小諸市

- 地域要望による総合支援事業(介護予防)への参画
 - ・ 長野県小諸市「あすか小諸」において、自立(介護予防事業)を充実
これにより、
健常者のマシン教室 → 総合支援(介護予防)
→ デイサービス → ショートステイ
→ 介護付き有料老人ホームによるサービスの提供
という、元気な時から地域の高齢者と係わり、潜在的な顧客の確保



レッドコード～年齢に係わらず実施出来るリハビリ
現状においても導入済で高評価

リハマシン各種～
各箇所に合わせたリハビリを実施し
筋力維持・可動域拡大に繋げる



新商品・新サービスの創造

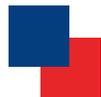
人材確保

➤ 処遇改善による就業の確保

- ・ 介護サービスに従事するスタッフの処遇改善を行い、介護サービスの充実
→ 栃木県佐野市「みずき佐野」が、栃木県（保健福祉部）が主催する
「キラキラ☆介護事業所グランプリ」、『労働環境・処遇改善部門賞』を受賞

- 「資格取得奨励制度」により、介護福祉士などの取得を目指す社員に対して、会社が受験費用全額負担、受験日当日の特別休暇を実施
- 年1回、最長5日間の「フリーバカンス制度」。
公休を指定できる「希望休制度」
- 全社員対象の社員旅行費用を、会社が全額負担。
子育て等の事情を考慮し、日帰り、または1泊2日の2コースから選択
- 介護記録のIT活用で「素敵な出来事」を共有。
社員同士で褒め合うことでモチベーション向上に繋がっている。





配当政策

- 経営成績及び財政状態を勘案したうえで、**配当性向20%以上の利益還元**を目指す
- 2017年10月期は、一株あたり **15円配当予定**

本資料に関する注意

- この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらはリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。



《 I Rならびに本資料に関するお問合せ先》

- ◆ I R責任者 : 常務取締役 経営管理本部長 古澤誠一
- ◆ I R担当者 : 経営企画室 室長 高橋 栄
- ◆ E-mail : ir@tbcscat.jp
- ◆ 電 話 : 03-5623-9670

株式会社 ティビィシー・スキヤット